

2008.3.22

世界で活躍する 第2回 若杉弘と朝比奈隆
日本の演奏家

プログラム

今回は日本の演奏家特集の第2回として、若杉弘と朝比奈隆が海外のオーケストラを指揮した演奏をお聴きいただきます。若杉弘は1935年生まれ。かつては名門ドレスデン国立歌劇場の音楽監督を歴任するなど70年代後半から90年代前半にかけてヨーロッパを中心に大活躍をしていた指揮者ですが、それ以降は日本に留まっているのが残念です。朝比奈隆はカラヤンと同じ1908年生まれ。半世紀にわたり大阪フィルの常任指揮者を務めた日本指揮界の重鎮です。1950年代からベルリン・フィルに客演するなど、海外オーケストラへの客演も多く、一部で熱狂的なファンを持つ指揮者でしたが、2001年に93歳で亡くなりました。二人の残した素晴らしいライヴ録音でその足跡を辿ってみたいと思います。

リヒャルト・シュトラウス(1864~1949) :

四つの最後の歌 ~ 第3曲 眠りにつくとき/第4曲 夕映えのなかで

エディット・マティス (ソプラノ)

若杉 弘指揮ドレスデン国立歌劇場管弦楽団

(1989.4.5 サントリーホール来日Live)

モテスト・ムソルグスキー(1839~1881) (レオポルト・ストコフスキー(1882~1971)編曲) :

組曲“展覧会の絵” ~ フロムナード - こびと - 古い城 - ババ・ヤガーの小屋 - キエフの大きな門

若杉 弘指揮南西ドイツ放送交響楽団

(1975.4.30 ランダウ・コンサートホールLive)

ヨハネス・ブラームス(1833~1897) :

交響曲第2番ニ長調Op.73 ~ 第1楽章から、第4楽章

若杉 弘指揮ケルン放送交響楽団

(1983.6.17 昭和女子大学人見記念講堂来日Live)

*** 休憩 ***

リヒャルト・ワーグナー(1813~1883) :

楽劇“ニュルンベルクのマイスタージンガー” 第一幕への前奏曲

朝比奈隆指揮北ドイツ放送交響楽団

(1987.4.16 サントリーホール来日Live)

フランツ・リスト(1811~1886) :

ピアノ協奏曲第1番変ホ長調G.124 ~ 第1楽章、第3楽章

ニキタ・マガロフ (ピアノ)

朝比奈隆指揮ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団

(1984.9.20 リンツ、ブルックナーハウスLive)

アントン・ブルックナー(1824~1896) :

交響曲第4番変ホ長調“ロマンティック” ~ 第4楽章から

朝比奈隆指揮北ドイツ放送交響楽団

(1987.4.16 サントリーホール来日Live)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827) :

交響曲第3番変ホ長調Op.55“英雄” ~ 第1楽章から、第2楽章から、第4楽章から

朝比奈隆指揮ベルリン放送交響楽団

(1989.9.24 ベルリン・フィルハーモニーホールLive ~ベルリン芸術週間より~)